

問1 弥生時代の3世紀、邪馬台国の卑弥呼が中国の「魏」に対して使いを送った目的と、その結果として当時の国際情勢から読み取れる背景として最も適切なものはどれか。 (2017年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 隋の皇帝に対して対等な立場での外交を求め、小野妹子を派遣して「日出づる処の天子」という国書を届けさせた。 | 2. 全国的な徴税制度である大宝律令を確立させるために、中国から法制度の専門家を招いて政治改革を推進した。 | 3. 中国の皇帝から倭の王としての正当性を認められることで、国内の諸勢力に対する支配力を強化しようとした。 | 4. 日宋貿易を円滑に進めるために、大輪田泊のような港湾施設を整備して中国との経済的な結びつきを重視した。 |
|---|---|---|---|

問2 1世紀頃の東アジアにおいて、中国の皇帝が周辺国の支配者に対して「みつぎ物」の見返りとして「称号」や「印」などを与える国際秩序がありました。倭の王が中国へ使いを送った歴史的背景や目的として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 仏教などの新しい宗教を中国から正式に導入し、国を治めるための思想として活用しようとした。 | 2. 中国の皇帝に臣下として認められることで、自らの支配者としての地位を国内や周辺に示そうとした。 | 3. 朝鮮半島北部の小国として、中国の強力な武力による直接支配から逃れるための許可を求めた。 | 4. 中国と対等な立場で外交関係を築き、軍事的な同盟を結ぶことで領土を拡大しようとした。 |
|---|---|--|--|

問3 千葉県茂原市の宮ノ台遺跡から出土した、弥生時代中期の代表的な土器である「宮ノ台式土器」が作られていた頃の世界情勢について、日本の状況と関連付けて説明したものとして正しいものはどれですか。 (2023年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 日本では鉄器の使用が始まったばかりであったが、世界では中国の殷(商)が文字や青銅器を使用し始めていた。 | 2. 日本では仏教が伝来し聖徳太子が政治を行っていたが、世界ではメソポタミアでハンムラビ王が法典を制定した。 | 3. 日本では稲作が定着し、地域ごとに特色ある土器が作られる一方で、西洋ではローマ帝国が地中海を支配していた。 | 4. 日本では狩猟や採集が生活の中心であり、世界ではエジプト文明においてピラミッドが建設されていた。 |
|--|--|---|--|

問4 日本列島で稲作が広まり、人々が竪穴住居に住んで定住生活を行っていた時代について説明した記述があります。その記述には、大陸から伝わった銅鐸や銅鏡などの青銅器が祭りの道具として用いられていたことや、当時の中国の歴史書において日本が「100余りの国」に分かれていたと記されていることが示されています。この時代の名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 縄文時代 | 2. 弥生時代 | 3. 古墳時代 | 4. 奈良時代 |
|---------|---------|---------|---------|

問5 弥生時代、土を耕すための農具や敵と戦うための武器には、青銅ではなく主に「鉄」が材料として選ばれました。このように鉄器が実用品として普及した理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 鉄は日本列島で独自に発見された金属であり、大陸から輸入する必要があった青銅よりも安価だったから。 | 2. 青銅は非常に重く持ち運びが困難だったため、軽量の鉄が実用的な道具として好まれたから。 | 3. 鉄は青銅よりも融点が低く、当時の未熟な技術でも簡単に大量生産することができたから。 | 4. 鉄は青銅に比べて硬度が高く耐久性に優れていたため、衝撃の加わる作業や戦闘に適していたから。 |
|---|---|--|--|

問6 弥生時代に使用された土器の一般的な特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2026年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|--|----------------------------------|
| 1. 表面に縄目の文様が全体に施されており、厚手で黒褐色をしている。 | 2. 呪術的な目的から、表面に激しい隆起や複雑な装飾が施されている。 | 3. ろくろを使用せずに低温で焼かれたため、形が歪んでおり非常に厚くて脆い。 | 4. 赤褐色で文様やかざりが少なく、薄くて硬い性質を持っている。 |
|------------------------------------|------------------------------------|--|----------------------------------|

問7 弥生時代に製作された銅鐸や銅鏡などの青銅器について、その主な役割や目的として最も適切な説明はどれか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|---|-------------------------------|
| 1. 集落間の争いにおいて、敵を攻撃するための強力な武器として用いられた | 2. 大陸との交易において、通貨の代わりとなる経済的な手段として用いられた | 3. 木材を加工したり土を掘り起こしたりするための実用的な工具として用いられた | 4. 稲作の豊穰などを願うための祭祀の道具として用いられた |
|--------------------------------------|---------------------------------------|---|-------------------------------|

問8 弥生時代に大陸から伝えられた金属器のうち、銅鐸や銅剣などの青銅器は、主にどのような目的で使用されていたと考えられますか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|------------------------|-------------------------------------|
| 1. 都の東西に置かれた市で、布や米と交換される通貨として用いられた | 2. 土地を耕したり木を加工したりする実用的な工具として用いられた | 3. 集団の祭祀や祭りの道具として用いられた | 4. 食物を煮炊きしたり、貯蔵したりするための生活容器として用いられた |
|------------------------------------|-----------------------------------|------------------------|-------------------------------------|

問9 弥生時代に大陸から伝わり、日本の社会を大きく変化した稲作の広がりについて述べた文として、正しいものはどれか。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 稲作が伝わった直後に大王(おおきみ)と呼ばれる強力な支配者が現れ、全国の開墾を命令した。 | 2. 稲作は日本全土に均一に広まり、北海道や沖縄においてもこの時期に大規模な水田開発が行われた。 | 3. 稲作は九州から始まり、東北地方まで広がったが、当時の気候や環境の影響もあり北海道や沖縄を除く地域に定着した。 | 4. 稲作の普及により、それまで使われていた打製石器がすべて消失し、すべてが青銅器や鉄器に置き換わった。 |
|---|--|---|--|

問10 稲作の伝来によって食料を蓄えることが可能になると、社会の仕組みが大きく変化しました。土地や水をめぐる争いが発生し、富や権力を持つ者が現れたことで生じた、当時の社会の変化として正しい説明を選びなさい。 (2023年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|-----------------------------------|---------------------------------------|--|
| 1. 各地に「クニ」と呼ばれるまとまりができ、それを支配する「王」が現れた。 | 2. 人々は定住をやめ、マンモスを追いかけて移動する生活に戻った。 | 3. 朝廷が全国の人々を戸籍に登録し、すべての人に一律に口分田を支給した。 | 4. 身分差がなくなり、すべての村人が平等に食料を分配する仕組みが完成した。 |
|--|-----------------------------------|---------------------------------------|--|

問11 3世紀の日本の様子を伝える中国の歴史書『魏志倭人伝』の記述に基づき、当時の社会や統治の状況として正しい説明はどれですか。 (2022年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|---|
| 1. 墾田永年私財法が制定され、新しく開墾した土地を永久に自分のものにすることが認められた。 | 2. 邪馬台国の女王である卑弥呼が、乱れていた多くの国をまとめ、約30の国を従えていた。 | 3. 唐から来日した鑑真が仏教の戒律を伝え、国内の寺院の整備が進められた。 | 4. 聖徳太子が冠位十二階を定め、家柄にとらわれず才能のある人物を役人に登用した。 |
|--|--|---------------------------------------|---|

問12 弥生時代の社会において、大陸から伝わった「青銅器」と「鉄器」の使い分けに関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|---|---------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 青銅器は鋭い切れ味を活かして農具に、鉄器は祭りの楽器に用いられた。 | 2. 青銅器は主に通貨として流通し、鉄器は主に古墳の副葬品としてのみ使われた。 | 3. 青銅器は祭りの道具として用いられ、鉄器は工具や農具として用いられた。 | 4. 青銅器は書院造のような武家の住居を飾る装飾品として用いられた。 |
|--------------------------------------|---|---------------------------------------|------------------------------------|